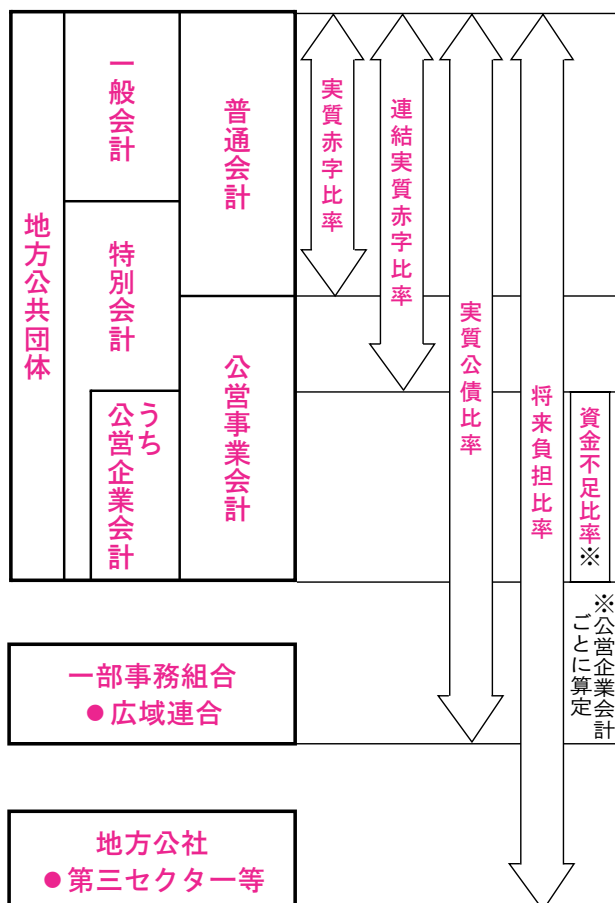


ワンポイント

《健全化判断基準》

判断比率	健全段階	早期健全化段階	再生段階
実質赤字比率	早期健全化段階未満の指数	早期健全化基準は、財政規模に応じ11.25%～15%以上	20%以上
連結実質赤字比率	〃	市町村は、財政規模に応じ16.25%～20%以上	30%以上
実質公債費比率	〃	25%以上で一般単独事業の起債が制限される	35%以上で災害復旧以外の起債が制限される
将来負担比率	〃	指数が市町村は350%、都道府県及び政令市は、400%以上	

《健全化判断比率》



刈田病院を中核にした地域医療の構築について

保科 惣一郎

〔質問〕今、市内において、話題の中心は、刈田病院の問題である。

『病院には医者がいなくなる』

とか『病院がつぶれるのではないか』との悪いうわさが広まっており、疑心暗鬼になっている方もいる。

いまこそ正しい情報を市民は求めている。

市民との協力なしには同病院を中核とした地域医療の効果が高めることは不可能である。

医師不足のなか、市民の安全・安心をどのように構築していくのか市長の所見を伺いたい。

〔答弁〕〔市長〕自治体病院に勤務する医師の過重な労働により、全国的な医師不足に拍車をかけているということには認識している。

現在、刈田病院に勤務している医師は、朝7時過ぎに出勤し入院患者を確認、9時ごろから外来患者の診察、3時以降に入院患者の診察。月に数回の当直当番では、翌朝までの緊急患者の診療から32時間勤務となっているのが、同病院に勤務する医師の実態である。

このような過重な労働が続けば、いかに崇高な使命を持つ医師であっても、体力が持たないと思うている。

また、医師をサポートする

看護師不足についても、特に女性スタッフが働きやすい職場環境を整えることも早急に進めたいと考えている。

今回、刈田病院と白石市医師会が「地域医療を守るためのお願い」を、同病院に対する不安を払拭するために、全戸配布をした。

白石市民の安全と安心のか

なめである刈田病院は存続しなければならない。

白石市長として、病院管理者として、全身全霊を捧げて進めて行く覚悟である。

市民の皆さんが、まずご自分のかかりつけ医を持っていたら、安易に時間外診療を受けない等の取り組みを通して、病院と開業医の病診連携が図られる。

そして、刈田病院が守られ、地域が守られることになると思っている。